

観光関係者と地域外国人財と協働で挑戦！

『観光日本語』

全3回

ワークショップのご案内

その看板、本当に伝えたいことを伝えていますか？

その案内、本当に知りたいことを伝えていますか？

その対応、本当に安全・安心を守れますか？

私たちの「伝えたい」と「当たり前」を見直してみませんか？

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、訪日外国人観光客の増加が期待されています。この動向に対応するインバウンド環境整備はどう進めていったらいいのでしょうか？多言語表記をしたところで、同時翻訳機を備えたところで、その「もとになっている日本語」がわかりにくければ、相手に内容は伝わりません。

そこで、私たちは、生まれ育った文化や社会が異なる人々にも、観光地の情報と魅力と安全を、伝わるように伝え・分かり合うための日本語を「観光日本語」と定義し、「観光日本語」のあり方を実践的に考えることにしました。観光スポットでの掲示・説明・対話を、外国人観光客の視点で見ると、どう受け止められるのかを切り口に、「観光日本語」のあり方を考えていきます。

対象は、観光関連産業に従事されている方や自治体等観光行政に携わっているみなさんです。外国人観光客の視点を提供するのには、群馬大学「ハタラクラスぐんま地域日本語教室」で学ぶ定住外国人や留学生のみなさんです。異なる文化・視点を体感して、「伝えたい」と「当たり前」を見直してみませんか？

対 象 観光関連産業に従事されている方・自治体関係者など

実 施 ※第1～3回とも、10:30～12:00▶トークセッション
13:00～16:00▶ワークショップ

第1回 掲示のための「観光日本語」

— 外国人観光客が「わかる＋魅力のある看板・掲示」とは：京都市観光自転車の取組を事例に —
平成30年10月21日(日)▶群馬大学 荒牧キャンパス・ミューズホール

第2回 説明のための「観光日本語」 — 外国人観光客にどう酒蔵の魅力を伝えるか —

平成30年11月4日(日)▶田園プラザ川場 研修室

第3回 対話のための「観光日本語」 — 災害時における外国人観光客の安全・安心をどう守るか —

平成31年1月27日(日)▶伊香保温泉ビジターセンター4F会議室

本事業は、群馬大学「2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた観光インバウンド活性化のための地域日本語教室～地域の観光関係者と外国人財と協働で築く『観光日本語』～」(文化庁 平成30年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業地域日本語教育実践プログラム(B)受託事業)として実施するものです。

主催／群馬大学 後援／群馬県・渋川市・川場村・群馬県酒造組合・渋川伊香保温泉観光協会
川場村観光協会・関越交通(株)・利根沼田酒蔵ツーリズム協議会

参加費
無 料

観光関係者と地域外国人財と協働で挑戦！

「観光日本語」ワークショップ(全3回)

プログラム

第1～3回とも

10:30～12:00は、ゲストスピーカーを囲んでのトークセッション

13:00～16:00は、観光関係者と群馬県内に居住する外国人財とともに
取り組む事例改善のためのワークショップ

第1回 掲示のための「観光日本語」

ー 外国人観光客が「わかる＋魅力のある看板・掲示」とは：ー

京都市観光自転車の取組を事例にー

言語を超えて伝わる看板・掲示のコツとは？

ゲスト／京都市役所 志渡澤 祥宏 氏
都市計画局広告景観づくり推進室長を経て、
建設局自転車政策推進室長



志渡澤 祥宏 氏

第2回 説明のための「観光日本語」

ー 外国人観光客にどう酒蔵の魅力を伝えるかー

群馬県酒造組合 阿部 倫典 氏
群馬の地酒大使(群馬県酒造組合) 結城 瞳ジーナ 氏

群馬の地酒もインバウンド・アウトバウンドの可能性を模索中。今年5月に外国人訪問客の酒税を免除する許可を得た利根沼田酒蔵ツーリズム。その魅力を言語や文化の違いを超えて外国人観光客にどう伝えていくのか？



阿部 倫典 氏



結城瞳ジーナ 氏

第3回 対話のための「観光日本語」

ー 災害時における外国人観光客の安全・安心をどう守るかー

群馬大学大学院理工学府環境創生部門
准教授 金井 昌信 氏

地域住民が主体となった避難体制づくりを群馬県内で実践的に展開。先日北海道胆振東部地震で改めてクローズアップされた災害時における外国人観光客への対応。旅館・ホテル等関係機関でどう安全・安心な言葉かけができるのか。



金井 昌信 氏

総合司会 糸井 昌信・小林 あけみ (「ハタラクラスぐんま」地域日本語教室コーディネーター)

モデレーター 結城 恵 (群馬大学 大学教育・学生支援機構 教授
「ハタラクラスぐんま」地域日本語教室 企画・運営責任者)

ワークショップには「ハタラクラスぐんま」地域日本語教室に参加・協力している定住外国人・留学生・日本人学生が参加致します(国籍：ブラジル・ペルー・中国・ベトナム・日本等)。



「ハタラクラスぐんま」地域日本語教室の様子

募集人数 20名

問合せ先

群馬大学 プロジェクト推進室(結城研究室)

〒371-8510 前橋市荒牧町四丁目2番地
TEL&FAX: 027-220-7382
E-mail: en.kankou.nihongo@gmail.com

申し込み

WEBエントリーフォームをご利用ください。定員になり次第締め切らせていただきます。参加の可否は、ご応募いただいた方全員のみなさまにご連絡します。
パソコンからお申し込みされる方は次のアドレスからお願いいたします: <https://goo.gl/forms/85Nu2Sq1hnuP5zje2>



群馬大学「観光日本語」シンポジウム

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、訪日外国人観光客の増加が期待されています。この動向に対応するインバウンド環境整備はどう進めていったらいいのでしょうか？ 多言語表記をしたところで、同時翻訳機を備えたところで、その**もとになっている日本語**がわかりにくければ、相手に内容は伝わりません。そこで、群馬大学では、生まれ育った文化や社会が異なる人々にも、観光地の情報と魅力と安全を、瞬時にサインとして伝え、それをきっかけに分かり合うコミュニケーションが生まれるような日本語を「**観光日本語**」と定義し、そのあり方を実践的に考えることにしました。

この課題を取り組んだのは、本事業で実施した地域日本語教室「**ハタラクラスぐんま**」地域日本語教室です。本シンポジウムでは、本年度取り組んだ観光日本語の**3つのワークショップ** (裏面参照)の成果をこの教室に参加する外国人学習者が指導者とともに発表します。その発表をもとに、日本語・観光・行政・防災・地域活性化など多角的な視点で意見交換を行い、これからの「**観光日本語**」のあり方とその構築に「地域日本語教室」が持つ可能性を模索します。

日 時 平成**31**年**2**月**17**日(日) 13:00~17:00

会 場 群馬大学荒牧キャンパス ミューズホール

**参加費
無 料**

12:30 開 場
13:00 主催者挨拶 窪田 健二 群馬大学理事(教育・企画担当)・副学長
来賓挨拶 高木 勉氏 渋川市長
13:15 趣旨説明 結城 恵 (群馬大学大学教育・学生支援機構 本取組企画・運営責任者)

13:20 **基調講演**
「地域日本語教室が拓く地域の未来」
講演者／伊東 祐郎氏 (東京外国語大学 副学長・文化庁審議会国語分科会 会長)

14:00 **取組報告**
「ハタラクラスぐんま」地域日本語教室の1年間の取組報告
「ハタラクラスぐんま」地域日本語教室学習者・指導スタッフ

15:00 休 憩

15:15 **パネルディスカッション**
「ハタラクラスぐんま」地域日本語教室は地域にどう貢献できるのか
～2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた「観光日本語」の取組を事例として～

司会進行／結城 恵 (群馬大学大学教育・学生支援機構 教授) (五十音順)

伊東 祐郎氏 (東京外国語大学 副学長)
大森 隆博氏 (渋川伊香保温泉観光協会 会長)
佐藤 武夫氏 (群馬県産業経済部観光局観光物産課 課長)
佐藤 俊也氏 (関越交通株式会社 代表取締役社長)
志渡澤 祥宏氏 (京都市建設局自転車政策推進室 室長)
高木 勉氏 (渋川市長)
戸部 正紀氏 (川場村むらづくり振興課 課長)
永井 則吉氏 (永井酒造株式会社 代表取締役社長)
「ハタラクラスぐんま」地域日本語教室指導スタッフ・学習者代表



17:00 終 了



講演者／伊東 祐郎氏

本事業で平成30年度に取組んだ3つのワークショップ

第1回 掲示のための「観光日本語」

ー 外国人観光客が「わかる＋魅力のある看板・掲示」とは：

京都市観光自転車の取組を事例にー

言語を超えて伝わる看板・掲示のコツとは？

ゲスト／京都市役所 志渡澤 祥宏 氏
都市計画局広告景観づくり推進室長を経て、
建設局自転車政策推進室長



志渡澤 祥宏 氏

第2回 説明のための「観光日本語」

ー 外国人観光客にどう酒蔵の魅力を伝えるかー

群馬県酒造組合 阿部 倫典 氏
群馬の地酒大使(群馬県酒造組合) 結城 瞳ジーナ 氏

群馬の地酒もインバウンド・アウトバウンドの可能性を模索中。今年5月に外国人訪問客の酒税を免除する許可を得た利根沼田酒蔵ツーリズム。その魅力を言語や文化の違いを超えて外国人観光客にどう伝えていくのか？



阿部 倫典 氏



結城瞳ジーナ 氏

第3回 対話のための「観光日本語」

ー 災害時における外国人観光客の安全・安心をどう守るかー

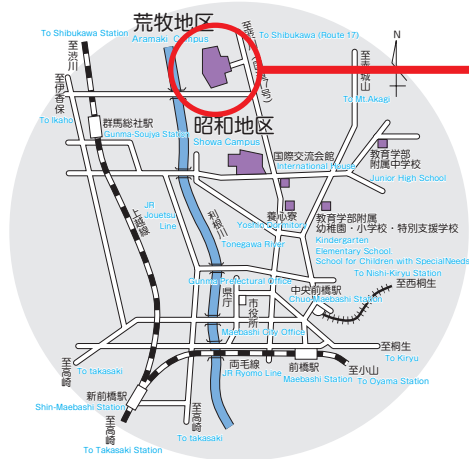
群馬大学大学院理工学府環境創生部門
准教授 金井 昌信 氏

地域住民が主体となった避難体制づくりを群馬県内で実践的に展開。先日北海道胆振東部地震で改めてクローズアップされた災害時における外国人観光客への対応。旅館・ホテル等関係機関でどう安全・安心な言葉かけができるのか。



金井 昌信 氏

会場案内



[会場]
大学会館
ミューズホール

鉄道アクセス

東京方面から前橋まで

●東京 新幹線約60分 ●高崎 在来線約15分 ●前橋
●新宿 在来線約2時間20分 ●前橋

荒牧地区

[所在地：前橋市荒牧町4-2]

荒牧キャンパスへのアクセス

<http://www.gunma-u.ac.jp/access>

募集人数 150名

問合せ先

群馬大学 プロジェクト推進室(結城研究室)

〒371-8510 前橋市荒牧町四丁目2番地
TEL & FAX: 027-220-7382
E-mail: en.kankou.nihongo@gmail.com

申し込み

WEBエントリーフォームをご利用ください。定員になり次第締め切らせていただきます。参加の可否は、ご応募いただいた方全員のみなさまにご連絡します。
パソコンからお申し込みされる方は次のアドレスからお願いいたします：
<https://goo.gl/forms/kIIEEWtrxBavmvf2>

